

2

公務員試験

2-1

ワンポイントアドバイス (p.10-12)

2-2

勉強スケジュール (p.13-14)

1.内定者紹介 (p.3-8)

- ・内定者基本データ
- ・内定者プロフィール

3.官庁訪問 (p.15-25)

- ・事前準備
- ・当日について

4.最後に (p.26-29)

- ・就職活動を振りかえって
- ・メッセージ

● 本格的に試験勉強を始めた時期

試験前年度の秋以降

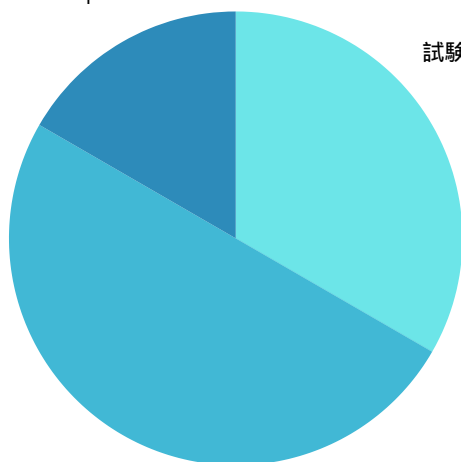
1

試験前々年度の秋以降

2

試験前年度の春以降

3



● 基礎能力試験全般

- 問題を解くスピードが大事だと感じたため、時間を測って問題を解きました。
- 過去問を解く中で、問題を解く順番や諦めるタイミングを見定めました。
- 予備校の問題集を何周もしました。毎日解き、感覚を鈍らせないようにしました。
- 数的処理、文章理解は過去問を5年分解きました。苦手だった資料解釈と文章理解の並べ替え問題は遡ってさらに前の問題も解きました。

● 専門短答試験全般

- 生協講座の授業を見て問題集を1周しました。その後は間違えた問題のみ2周目に取り組みました。
- 過去問を5年分解いて、もし同じような問題が出題されたら全て解けるようにしていました。
- 覚えられていないことをノートに書き込んで、覚えたら赤ペンで消す作業を繰り返しました。
- 過去問と問題集をとにかく周回し、判例を覚えるようにしました。

● 専門記述試験全般

- 短答試験と求められる知識のレベルはあまり変わらないので、記述試験だけのために知識を補強することはしませんでした。その代わりに短答の知識をより正確にすることを意識していました。
- 3年分の過去問を解いて実際に答案用紙に書く練習をしました。実際に解いておくことで自分なりの解答時間の使い方を身に着けることができました。
- 国家総合職とは少し傾向が異なりますが、国家総合職よりやや簡単な参議院事務局の記述の過去問を解いたのはいい練習になりました。
- 法学部なので大学の授業で答案の書き方や知識を学びました。
- 模範解答を読み込みました。
- 憲法は、重要な言い回しを1日に数個ずつ覚えめました。行政法は、過去問をひたすら解いて問題の傾向を掴みました。

● 人事院面接

- 国家公務員総合職としての志願理由を固めました。
- 基本的に民間企業の就活と同じような準備をしました。
- 予備校と大学のキャリアセンターを活用して模擬面接を受けました。
- 生協講座の事務局の方に面接カードの添削をお願いしました。
- 想定質問を考えるなどして深掘り質問の対策をしました。

● 教養区分対策

● 総合論文試験

- 人事院から取り寄せた過去問などをもとに、解答作成・自己添削・他者添削を隔週でしました。

● 基礎能力試験

- 知能分野は1日2題を早く解くことを習慣づけました。
- 知識分野は出題範囲が限られている倫理、文化、経済、地学などから順に力を入れ、1点でも稼ぐことを念頭におきました。

● 企画提案試験

- 発表された課題を元に白書を読んだり実際の取組みを調べたりしました。
- 現状と問題点、改善の提案を的確に伝えられるよう、配分を考えました。

● 政策課題討議試験

- 社会問題について、常に賛否両方の立場の意見を考えるようにしました。
- 1次試験を通過した受験生で集まって、ディベートや政策討議の練習をしました。

● 試験当日のこだわりの持ち物

- ゼリー飲料(ラムネ味)
- 休憩時間に食べるためのおかし(ラムネ・チョコレート)
- お気に入りの腕時計
- ポケットティッシュ(少し高めの鼻に優しいもの)
- 家族からもらったお守り



● 試験当日の様子で印象に残っていること

- 教養区分の2次試験は待ち時間が非常に長いうえに、晩秋なのでとても寒かったです。持参したコートとホッカイロを重宝しました。
- 春試験の政策論文試験は、時間が長いうえに昼食の後だったので眠くなりました。途中でトイレに行くなどして気分を変えることがおすすめです。
- 机がグラグラしたので試験官の方に頼んで机を替えてもらいました。
- 国家総合職2次試験の日は花粉症をこじらせた風邪を引いてしまい、とても大変でした。当然のことではありますが、体調管理はしっかりしましょう。
- 専門記述試験のときに、選択問題の科目を記入する欄にちゃんと選択科目名を書いたか確認し忘れてしまいました。合格発表までとても不安でした。
- 人事院面接では順番が遅かったので、集合から2時間以上も待機時間がありました。提出した面接カードのコピーを準備していたので、内容を確認して時間をつぶしました。

● 勉強が辛い時や集中できない時の対処法

- 散歩をしたり、カフェに行って環境を変えたりしました。
- 採用パンフレットを読んだり業務説明会に出席したりして、モチベーションを高めました。
- ラジオや音楽を聞いたり、YouTubeを見たりして休憩していました。
- 気分転換に筋トレをしていました。
- 友達とご飯に行ってたくさんお喋りしました。
- 好きなものを食べたり、よく寝たりして体を労わりました。



内定者に試験勉強の時期別スケジュールを聞いてみました。
勉強計画を立てる際の参考にしてみてください。

1.とんとん(法律区分)の場合

2年生

秋

- 予備校に入る
- 憲法・民法の授業を見始める
- 数的処理の授業を見始める

冬

- 教養区分を受験することを決めて勉強を始める
- 毎日数的処理を解く
- 法律科目も並行して勉強する

3年生

夏

- 教養区分の勉強に専念する

10月

- 教養区分が終わり、あまり勉強せず

11月

- 法律科目の勉強を再開する
- 憲法・民法・行政法の授業を見直す
- ひたすら問題集を解く



本ページと次ページに掲載されている内定者3名は
2024年度の総合職試験を受験しています。
2024年度の試験は以下の日程で行われました。
1次試験：2024年3月17日
2次試験(人物試験を除く)：2024年4月14日
2025年度の試験日程は人事院HPをご確認ください。

12月

- 刑法・商法・労働法の授業を見始める
- 憲法・民法・行政法は問題集を繰り返し解く
- 数的処理・文章理解は毎日触れるようにする
- 専門記述の授業を少しずつ見始める

1月

- 問題集の間違った問題をひたすら繰り返す
- 専門記述の模試を受ける
- 過去問を解き始める

2月

- 間違えた問題や過去問を繰り返し解く
- 時事を詰め込む

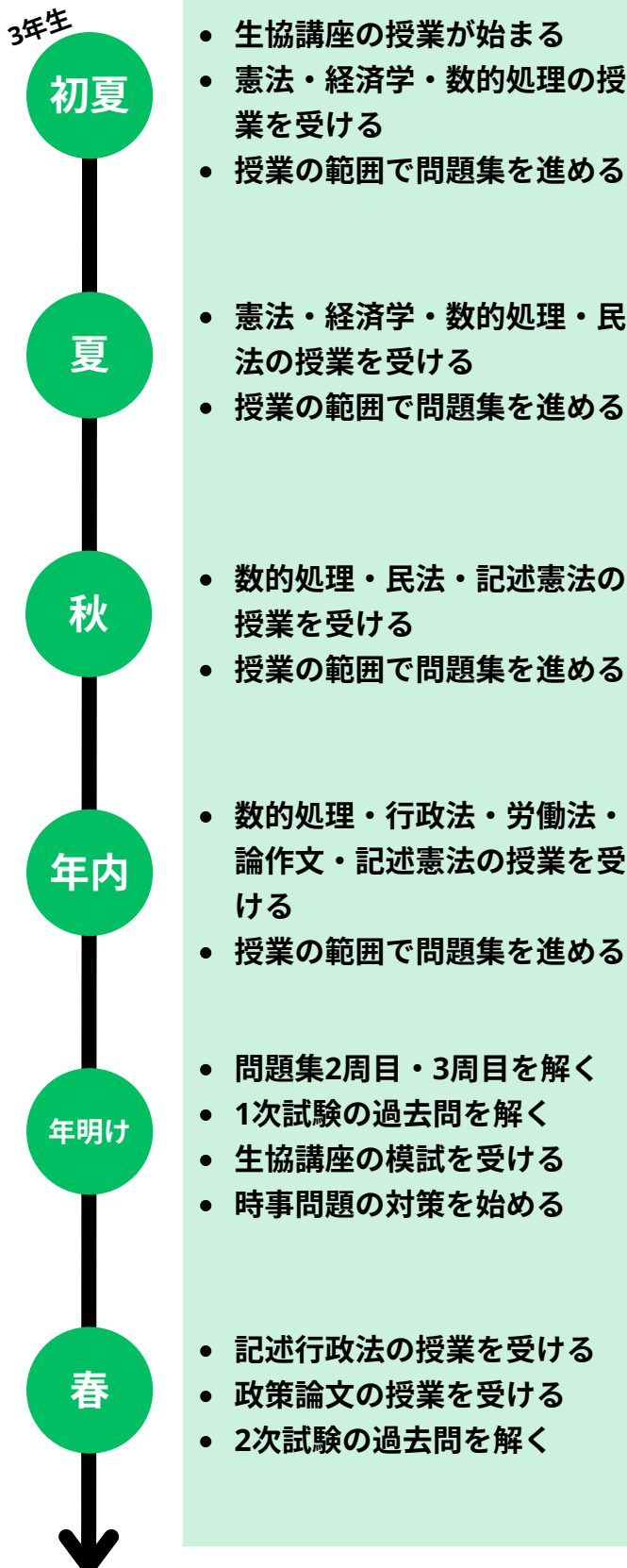
3月

4月

- 専門記述の勉強をする



2. えんぴつ(法律区分)の場合



3. あるまじろ(経済区分)の場合

